



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2000196801 A**(43) Date of publication of application: **14.07.00**

(51) Int. Cl. **H04N 1/00**
H04N 1/32

(21) Application number: **10366439**(71) Applicant: **RICOH CO LTD**(22) Date of filing: **24.12.98**(72) Inventor: **INOUE EIJIRO****(54) FACSIMILE SYSTEM**

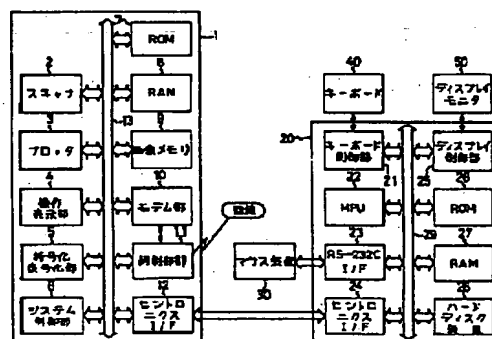
the PC side via a Centronics (R) interface 12.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system for inhibiting setting change from an information processor in a condition with the danger of generating inconsistency in the contents of setting information by providing a means for inhibiting the execution of rewrite change of the setting information sent from the information processor, while facsimile equipment is in operation.

SOLUTION: On a fax side, whether or not setting data after change are transferred from a PC side corresponding to a processing on the PC side is monitored, the data are temporarily stored in a RAM 8 when they are transferred and whether or not an operation display part 4 is during the operation, whether or not a scanner 2 is in use for the read of original image information or the like, whether or not a plotter 3 is in use for the recording of reception image information or the like, and whether or not a line is in use for the communication of transmission or reception are decided. When the max is in operation, scanning, plotting in use of line, rewrite disable is notified to



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-196801

(P2000-196801A)

(43) 公開日 平成12年7月14日 (2000.7.14)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
H 0 4 N 1/00	1 0 7	H 0 4 N 1/00	1 0 7 A 5 C 0 6 2
1/32		1/32	Z 5 C 0 7 5

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平10-366439

(22) 出願日 平成10年12月24日 (1998. 12. 24)

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 井上 栄治郎

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(74) 代理人 100083231

弁理士 紋田 誠

Fターム (参考) 5C062 AA02 AA13 AB17 AB20 AB22

AB38 AC43 AC58 AF02 AF05

BA00

5C075 AA02 AB02 BA08 BA09 BA15

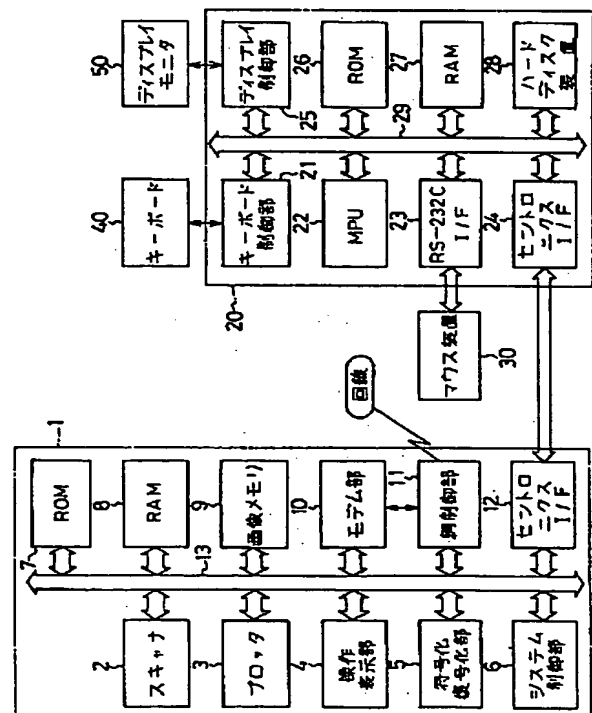
CA08 CA14 CA90 FF09

(54) 【発明の名称】 ファクシミリシステム

(57) 【要約】

【課題】 ファクシミリ装置の設定情報の内容に不整合が発生するおそれがある状況では情報処理装置からの設定情報の変更を行わせないファクシミリシステムを提供すること。

【解決手段】 装置動作に関連した設定情報を予め記憶し、その設定情報を必要に応じて参照して動作するファクシミリ装置と、情報処理装置とがインターフェースを介して接続され、前記情報処理装置から前記ファクシミリ装置が記憶する設定情報を前記インターフェースを介して書換変更可能なファクシミリシステムにおいて、前記ファクシミリ装置が操作中には、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を禁止することを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 装置動作に関連した設定情報を予め記憶し、その設定情報を必要に応じて参照して動作するファクシミリ装置と、情報処理装置とがインターフェースを介して接続され、前記情報処理装置から前記ファクシミリ装置が記憶する設定情報を前記インターフェースを介して書換変更可能なファクシミリシステムにおいて、前記ファクシミリ装置が操作中には、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を禁止するリモート変更禁止手段を備えたことを特徴とするファクシミリシステム。

【請求項2】 前記リモート変更禁止手段は、前記ファクシミリ装置が操作中のときに加え、スキャナを使用する機能が動作中のときにも、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を禁止するものであることを特徴とする請求項1に記載のファクシミリシステム。

【請求項3】 前記リモート変更禁止手段は、前記ファクシミリ装置が操作中のときに加え、プロッタを使用する機能が動作中のときにも、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を禁止するものであることを特徴とする請求項1に記載のファクシミリシステム。

【請求項4】 前記リモート変更禁止手段は、前記ファクシミリ装置が操作中のときに加え、回線を介して通信する機能が動作中のときにも、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を禁止するものであることを特徴とする請求項1に記載のファクシミリシステム。

【請求項5】 前記ファクシミリ装置が省電力待機中でも前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を可能とする手段を備えたことを特徴とする請求項1、2、3または4のいずれかに記載のファクシミリシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ファクシミリ装置とパーソナルコンピュータ等の情報処理装置とがインターフェースを介して接続されて構成されるファクシミリシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】ファクシミリ装置は、その動作に必要な各種設定情報を予め記憶していて、それら設定情報を必要に応じて参照して動作する。具体的には、いわゆるワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル等の機能のために、ワンタッチキーの番号と電話番号とを対応付けて記憶したワンタッチダイヤル登録テーブルや、短縮番号と電話番号とを対応付けて記憶した短縮ダイヤル登録テーブルを予め記憶して、ワンタッチキーが押下されると、ワンタッチダイヤル登録テーブルを参照して、押下されたワンタッチキーの番号に対応する電話番号を特定し、その特定した電話番号に自動的に発呼したり、短縮番号が指定されると、短縮ダイヤル登録テーブルを参照して、指定された短縮番号に対応する電話番号を特定し、その特定

した電話番号に自動的に発呼したりする。

【0003】また、設定情報としては、通信時に相手先に通知する自局番号や、スキャナの読取線密度の既定値、通常の動作状態において所定時間操作入力がないと、表示部の照明を消灯したりして節電状態に移行する節電機能のためのタイマ設定値等も挙げることができる。

【0004】そのようなファクシミリ装置の設定情報の変更は、従来はファクシミリ装置が備える操作部や、表示器を用いて行うが、通常の使用状態では、ファクシミリ装置は、宛先電話番号をマニュアル入力したり短縮番号を入力するテンキーや、送信開始を指示する〔スタート〕キーや、ワンタッチダイヤルのための数個のワンタッチキーや、短縮ダイヤルを指示するための〔短縮〕キーや、オフフックキー等の限られたキーしか必要とせず、また、表示器にも、装置の動作状態を表示したり、簡単なメッセージを表示できれば十分である。

【0005】しかし、ワンタッチダイヤル登録テーブルの登録内容の変更等においては、多数の相手先について、電話番号や、相手先名称を入力する必要があり、そのような変更作業をファクシミリ装置本体で行おうとすると、操作説明書を参照しないとわからないような、テンキーやワンタッチキーのアルファベットキーへの読み替等が必要となり、また、表示器に表示できる情報量も限定され、操作性がよくなり、入力間違いも発生しやすい。

【0006】そこで、従来、特開平8-265468号公報に見られる技術のように、パソコン等の情報処理装置とファクシミリ装置とを接続し、ファクシミリ装置側に予め設定された設定項目とその設定値をパソコン側に転送して表示させ、その設定値を変更してファクシミリ装置に伝送すると、ファクシミリ装置でそのデータを一旦受信バッファメモリに格納して受信し、EEPROM内にデータを順次記憶させることで、ファクシミリ装置側の設定情報を、ファクシミリ装置側の操作部に比較してずっと操作が容易なパソコン側のキーボード等を用い、また、ファクシミリ装置側の表示器に比較してずっと表示情報量の多いディスプレイを用いて行えるようにしたものがあつた。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかし、ファクシミリ装置側において、あるユーザにより操作部が操作されているとき、スキャナが使用中のとき、プロッタが使用中のとき、通信中のとき等に、他のユーザによる操作により情報処理装置で変更された設定情報がファクシミリ装置に伝送されると、同時に1つのデータを書き換えてしまったり、送信しようとした宛先データを書き換えてしまう等、設定情報の不整合が発生するおそれがあるという問題点があつた。

【0008】本発明はかかる事情に鑑みてなされたもの

であり、ファクシミリ装置の設定情報の内容に不整合が発生するおそれがある状況では情報処理装置からの設定情報の変更を行わせないファクシミリシステムを提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1に記載のファクシミリシステムは、装置動作に関連した設定情報を予め記憶し、その設定情報を必要に応じて参照して動作するファクシミリ装置と、情報処理装置とがインターフェースを介して接続され、前記情報処理装置から前記ファクシミリ装置が記憶する設定情報を前記インターフェースを介して書換変更可能なファクシミリシステムにおいて、前記ファクシミリ装置が操作中には、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を禁止するリモート変更禁止手段を備えたことを特徴とする。

【0010】請求項2に記載のファクシミリシステムは、請求項1に記載のファクシミリ装置において、前記リモート変更禁止手段は、前記ファクシミリ装置が操作中のときに加え、スキャナを使用する機能が動作中のときにも、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を禁止するものであることを特徴とする。

【0011】請求項3に記載のファクシミリシステムは、請求項1に記載のファクシミリ装置において、前記リモート変更禁止手段は、前記ファクシミリ装置が操作中のときに加え、プロッタを使用する機能が動作中のときにも、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を禁止するものであることを特徴とする。

【0012】請求項4に記載のファクシミリシステムは、請求項1に記載のファクシミリ装置において、前記リモート変更禁止手段は、前記ファクシミリ装置が操作中のときに加え、回線を介して通信する機能が動作中のときにも、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を禁止するものであることを特徴とする。

【0013】請求項5に記載のファクシミリシステムは、請求項1、2、3または4のいずれかに記載のファクシミリ装置において、前記ファクシミリ装置が省電力待機中でも前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を可能とする手段を備えたことを特徴とする。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、添付図面を参照しながら、本発明の実施の形態を詳細に説明する。

【0015】図1は、本発明の実施の形態に係るファクシミリシステムを構成するファクシミリ装置1及びパーソナルコンピュータ（パソコン）20のブロック構成を示している。

【0016】同図において、ファクシミリ装置1は、スキャナ2、プロッタ3、操作表示部4、符号化復号化部5、システム制御部6、ROM7、RAM8、画像メモリ9、モデム部10、網制御部11、セントロニクス1

／F12、及び、システムバス13とから構成されている。

【0017】スキャナ2は、セットされた原稿を読み取って画情報を得るもので、A4、B4及びA3の各定型主走査幅で原稿を読みとる機能を備え、それらの定型主走査幅のうちの操作表示部4から設定された定型主走査幅で原稿を読み取る。また、スキャナ2は、3.85本/mmまたは7.7本/mmの副走査解像度で原稿を読みとる機能を備え、それらの副走査解像度のうちの、既定の副走査解像度、または、操作表示部4から設定された副走査解像度で原稿を読み取る。プロッタ3は、回線を介して受信した画情報を、その線密度に応じて記録出力したり、スキャナ2で読み取った画情報を、その線密度に応じて記録出力（コピー動作）するためのものである。

【0018】操作表示部4は、図示していないが、オペレータによる操作入力を受け入れるためのテンキーや、ワンタッチダイヤルのためのワンタッチキー群、短縮ダイヤルのための【短縮】キー等の各種キーが配設されると共に、装置の動作状態や、オペレータへのメッセージを表示する表示器を備えるものである。

【0019】符号化復号化部5は、送信画情報を、G3ファクシミリに適合する、MH符号化方式、MR符号化方式、MMR符号化方式等の所定の符号化方式で符号化圧縮する一方、受信画像データをMH符号化方式、MR符号化方式、MMR符号化方式等に対応する所定の復号化方式で復号伸長するものである。

【0020】システム制御部6は、ROM7に書き込まれた制御プログラムに従って、RAM8を作業領域として使用しながら、装置各部を制御するマイクロコンピュータである。

【0021】ROM7は、前述したように、システム制御部6が装置各部を制御するための制御プログラムが記憶されているリードオンリメモリである。

【0022】RAM8は、前述したようにシステム制御部6の作業領域として使用されると共に、装置の動作に必要な設定データを記憶するランダムアクセスメモリである。なお、RAM8は、図示しないバックアップ回路によりバックアップされ、装置電源遮断時にもその記憶内容は保持される。

【0023】図2に、RAM8の記憶内容について示す。同図において、RAM8には、装置動作に必要な設定データ8aが予め記憶されている。設定データ8aは、ワンタッチキーの番号と相手先名称や相手先番号とを対応付けて登録したワンタッチダイヤル登録テーブル8aa、短縮番号と相手先名称や相手先番号とを対応付けて登録した短縮ダイヤル登録テーブル8ab、待機状態において、一定時間操作表示部4からの操作入力がない場合に、操作表示部4の表示器の照明を消灯すると共に、スキャナ2やプロッタ3への電力供給を停止する省

電力待機モードに移行するためのタイマ設定値である節電タイマ設定値8a cや、回線を介した通信時に被呼端末識別信号CSI、送信端末識別信号TSI等として相手先に通知するための自局番号8a d等の各情報により構成されている。その他にも、スキャナ2の動作に関連した読取線密度の既定値や、プロッタ3の動作に関連した記録濃度の既定値などの各種情報が設定データ8aには含まれる。

【0024】図1に戻って、画像メモリ9は、送信画情報または受信画情報を一時的にファイルとして蓄積するためのものである。モデム部10は、G3ファクシミリモデムであり、網制御部11を介して回線に送信するデータを変調する一方、網制御部11を介して回線から受信した信号を復調するものである。また、モデム部10は、相手先番号に対応したDTMF信号の送出も行う。

【0025】網制御部11は、回線に接続されて、回線の直流ループの閉結・解放や、回線の極性反転の検出、回線解放の検出、発信音の検出、ビジー音等のトーン信号の検出、呼出信号の検出等の回線との接続制御や、ダイヤルパルスの生成を行うものである。セントロニクスインターフェース12は、後述するパソコン20のセントロニクスインターフェース24と対になるインターフェースであり、ファクシミリ装置1とパソコン20とが相互にデータをやり取りするためのインターフェースとなるものである。システムバス13は、上記各部がデータをやり取りするための信号ラインである。

【0026】一方、情報処理装置としてのパソコン20は、キーボード制御部21、MPU22、RS-232C1/F23、セントロニクス1/F24、ディスプレイ制御部25、ROM26、RAM27、ハードディスク装置28、及びシステムバス29とから構成され、また、周辺装置として、マウス装置30、キーボード40、及び、ディスプレイモニタ50を備えている。

【0027】キーボード制御部21は、キーボード40から入力されたキー操作を解釈してMPU22に通知するための制御を行うものである。MPU22は、装置各部を制御するマイクロプロセッサユニットである。RS-232CインターフェースF23は、接続されたマウス装置30から移動に応じて出力される移動方向や移動量の情報や、ボタンが押下されたか否かについての情報を受信してMPU22に通知するためのものである。

【0028】セントロニクスインターフェース24は、ファクシミリ装置1のセントロニクスインターフェース12と対になるインターフェースであり、ファクシミリ装置1とパソコン20とが相互にデータをやり取りするためのインターフェースとなるものである。ディスプレイ制御部25は、MPU22からの指示に応じてディスプレイモニタ50への画像信号を生成するものである。ディスプレイモニタ50は、そのディスプレイ制御部25からの画像信号を可視表示するものである。

【0029】ROM26は、MPU22の制御手順を記したプログラムが格納されるリードオンリメモリである。RAM27は、MPU22の作業領域となるランダムアクセスメモリである。ハードディスク装置28は、MPU22の制御手順が記されたプログラムや、画情報ファイル等の各種データが蓄積されるものである。システムバス29は、上記各部がデータをやり取りするための信号ラインである。

【0030】次に、以上の構成のファクシミリシステムにおける設定データ変更処理手順について、図3及び図4を参照して説明する。

【0031】それらの図に示す処理手順は、ファクシミリ装置1（ファックス）側の処理手順とパソコン20（PC）側の処理手順とから構成されている。ファックス側の処理手順は、ROM7に書き込まれたプログラムをシステム制御部6が読み出して実行することにより行われ、PC側の処理手順は、ハードディスク装置28に格納された設定データ変更用のアプリケーションが起動され、RAM27に展開されて、MPU22がその展開されたプログラムを読み出して実行することにより行われる。

【0032】それらの図において、PC側では、キーボード40により所定のキーの押下や、ディスプレイモニタ50に表示された所定のボタンのマウス装置30によるクリック操作等に応じて、設定データ転送要求をセントロニクスインターフェース24を介してファックス側に対して行い（処理201）、設定データが転送されるかを監視する（判断202のN o ループ）。

【0033】一方、ファックス側では、セントロニクスインターフェース12を介して設定データ転送要求がPC側からあるかを監視して（判断101のN o ループ）、ファックス側の処理201に対応して判断101がYesとなると、設定データ8aをRAM8から読み出して、セントロニクスインターフェース12を介してPC側に転送し（処理102）、変更後の設定データがPC側から転送されるかを監視する（判断103のN o ループ）。

【0034】一方PC側では、ファックス側の処理102に対応して判断202がYesとなり、ファックス側から転送されRAM27に記憶した設定データを、ディスプレイモニタ50に画面表示し（処理203）、ユーザによるキーボード40やマウス操作30の操作に応じて表示した設定データを変更する設定データ編集処理を行いつつ、変更後の設定データのファックス側への転送を指示する所定の転送指示操作があるかを監視する（処理203、処理204、判断205のN o ループ）。

【0035】そして、転送指示操作があると（判断205のYes）、処理204で編集された変更後の設定データをセントロニクスインターフェース24を介してファックス側に転送し（処理206）、「書換不可」の通

知がセントロニクスインターフェース24を介してファックス側からあるかを判断する(判断207)。

【0036】一方ファックス側では、PC側の処理206に対応して判断103がYesとなり、PC側から転送された設定データをすぐさま設定データ8aとして記憶するのではなく、一時的にRAM8に記憶する(処理104)。

【0037】そして、現在、操作表示部4が操作中であるか、スキャナ2が原稿画情報の読取などのために使用中であるか、プロッタ3が受信画情報の記録など使用中であるか、回線が、送信または受信の通信のために使用中であるかを判断する(判断105、判断106、判断107、判断108)。

【0038】操作中、スキャナ使用中、プロッタ使用中、または、回線使用中である場合は(判断105のYes、判断106のYes、判断107のYes、または、判断108のYes)、セントロニクスインターフェース12を介してPC側に「書換不可」の旨を通知し(処理109)、判断103に戻る。

【0039】操作中でもなく、スキャナ使用中でもなく、プロッタ使用中でもなく、または、回線使用中でもない場合は(判断105のNo、判断106のNo、判断107のNo、判断108のNo)、RAM8に記憶した設定データ8aを、処理104において一時記憶した設定データに書き換える(処理110)。

【0040】一方PC側では、判断207において、「書換不可」の旨の通知がない場合は(判断207のNo)、そのまま処理を終了するが、ファックス側の処理109に対応して「書換不可」の旨の通知があった場合は(判断207のYes)、「書換不可」の旨のメッセージをディスプレイモニタ50に表示し(処理208)、処理203に戻る。

【0041】処理203に戻り、判断205のNoループ中に、転送指示操作がなされる判断206以降の処理が繰り返り行われ、ファックス側が、設定データの変更をすると弊害がある、操作中、スキャナ使用中、プロッタ使用中、または、回線使用中でない場合に限り、ファックス側の設定データ8aのPC側からの書換変更が可能となる。

【0042】これにより、操作中、スキャナ使用中、プロッタ使用中、または、回線使用中に、設定データ8aが書き換えられてしまうことがなく、操作表示部4からの書き換え中に、設定データ8aがPC側からも書き換えられて、内容に不整合が生じたり、スキャナ使用中に、スキャナの動作に必要な設定データが書き換えられてしまったり、読取動作が不安定になったり、プロッタ使用中に、プロッタの動作に必要な設定データが書き換えられてしまったり、記録動作が不安定になったり、回線使用中に、送受信動作に必要な設定データが書き換えられてしまった通信動作が不安定になってしまったりする事

態の発生を未然に防止できる。

【0043】なお、ファクシミリ装置1は、通常動作時に節電タイマ設定値8acを読み出してカウントダウンするタイマ動作を行い、操作表示部4からの操作入力がないままタイムアウトすると操作表示部4の表示器用の照明を消灯し、スキャナ及びプロッタ3への電力供給を停止する省電力待機状態に移行するが、その省電力待機状態でも、ファクシミリ装置1は、図3及び図4に示した設定データ変更処理手順を行い、PC側からの設定データ転送要求があると(処理201)、その要求にตอบสนองして(判断101のYes)、以降の設定データ変更処理を行う。

【0044】それにより、省電力待機状態でも、PC側からファクシミリ装置1の設定データ8aを書換変更することができ、設定データのPC側からの変更のために、わざわざファクシミリ装置1のところまで行って、省電力待機状態から復帰させる操作をおこなわないで済む。なお、省電力待機状態の態様としては、表示器の照明消灯とスキャナ及びプロッタ3への電力供給の停止によるものに限らず、最低限、システム制御部6が、セントロニクスインターフェース12を介してPC側からの設定データ転送要求を検出できさえすれば、節電の程度はいかようであってもよい。

【0045】なお、以上説明した実施の形態においては、ファクシミリ装置1とパソコン20とが、セントロニクスインターフェース12、24により接続される場合を例に説明したが、それに限らず、RS-232Cインターフェース、SCSIインターフェース、LAN等のその他のインターフェースであってもよく、ファクシミリ装置1とパソコン20とを相互接続するインターフェースの形態により本発明は限定されるものではない。

【0046】また、以上説明した実施の形態においては、本発明をファクシミリ装置に適用したが、本発明はそれに限らず、パソコン等の情報処理装置にインターフェースを介して接続されたスキャナ装置、プリンタ装置、複写機、通信端末装置等のその他の装置に対しても応用可能なものである。

【0047】

【発明の効果】請求項1に係る発明によれば、前記ファクシミリ装置が操作中には、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更が禁止されるため、ファクシミリ装置側の操作により書換変更中の設定情報が、同時に前記情報処理装置から書き換えられてしまったり、ファクシミリ装置側の操作により指定した送信宛先が、前記情報処理装置からの書き換えられてしまったりというような事態の発生を防止でき、前記設定情報の内容の不整合を防止することが可能となる効果が得られる。

【0048】請求項2に係る発明によれば、スキャナを使用する機能が動作中にも、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更が禁止されるため、スキャナを使

用している機能が動作しているときに、その動作に必要な設定情報が動作途中で書き換えられてしまってスキャナの動作に支障がでるような事態の発生を防止して安定な動作を行うことが可能となる効果が得られる。

【0049】請求項3に係る発明によれば、プロッタを使用する機能が動作中にも、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更が禁止されるため、プロッタを使用している機能が動作しているときに、その動作に必要な設定情報が動作途中で書き換えられてしまってプロッタの動作に支障がでるような事態の発生を防止して安定な動作を行うことが可能となる効果が得られる。

【0050】請求項4に係る発明によれば、回線を介した通信する機能が動作中にも、前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更が禁止されるため、回線を介して通信する機能が動作しているときに、その動作に必要な設定情報が動作途中で書き換えられてしまって回線を介した通信に支障がでるような事態の発生を防止して安定な動作を行うことが可能となる効果が得られる。

【0051】請求項5に係る発明によれば、前記ファクシミリ装置が省電力待機中でも前記情報処理装置からの前記設定情報の書換変更を行えるようにしたため、ファクシミリ装置の省電力待機モードを手動で解除するなどの不要な手間が省け、使い勝手が向上するという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係るファクシミリシステムを構成するファクシミリ装置及びパーソナルコンピュータのブロック構成について示す図である。

【図2】本発明の実施の形態に係るファクシミリ装置のRAMの記憶内容について示す図である。

【図3】本発明の実施の形態に係るファクシミリシステムにおける設定データ変更処理手順について示すフロー

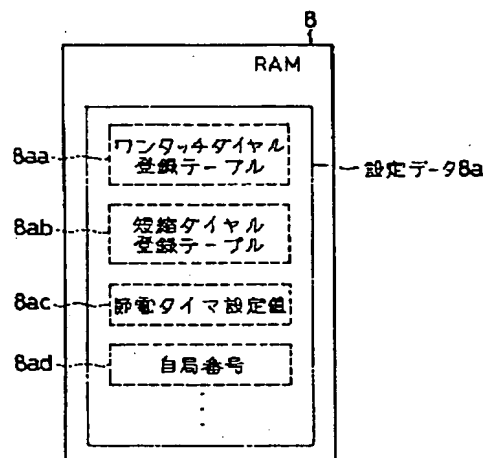
チャートである。

【図4】図3と共に、本発明の実施の形態に係るファクシミリシステムにおける設定データ変更処理手順について示すフローチャートである。

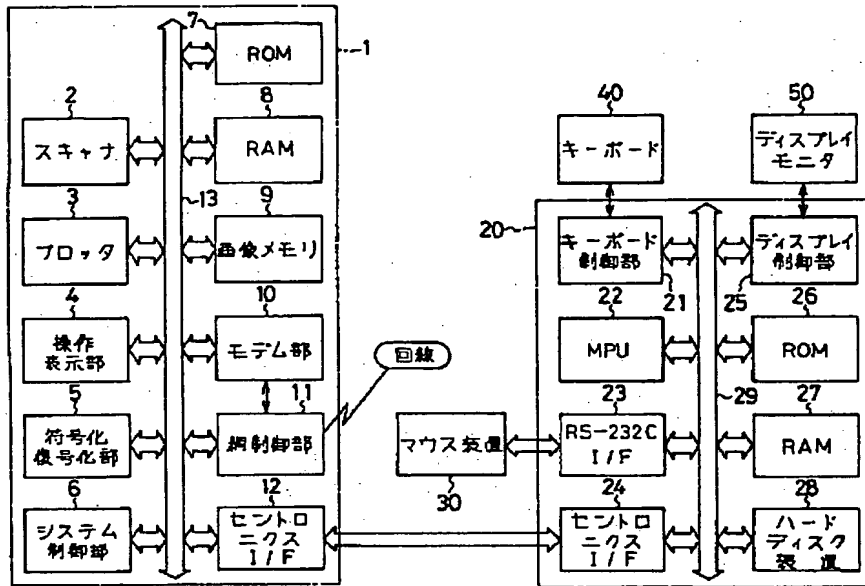
【符号の説明】

- 1 ファクシミリ装置
- 2 スキャナ
- 3 プロッタ
- 4 操作表示部
- 5 符号化復号化部
- 6 システム制御部
- 7 ROM
- 8 RAM
- 9 画像メモリ
- 10 モデム部
- 11 網制御部
- 12 セントロニクスインターフェース
- 13 システムバス
- 20 パソコン
- 21 キーボード制御部
- 22 MPU
- 23 RS-232Cインターフェース
- 24 セントロニクスインターフェース
- 25 ディスプレイ制御部
- 26 ROM
- 27 RAM
- 28 ハードディスク装置
- 29 システムバス
- 30 マウス装置
- 40 キーボード
- 50 ディスプレイモニタ

【図2】



【図1】



【図3】

【図4】

